

付録

付録として、本地域計画の作成にあたり実施したヒアリング調査とシンポジウムでのアンケート調査について掲載する。得られた回答から、文化遺産の現状、課題の把握をし、今後に向けて計画する事業化及びその連携の参考とした。

1. ヒアリング調査

本地域計画の作成にあたり、文化遺産・まちづくりに関連する団体、活動を行う個人に、文化遺産に関するヒアリング調査を行った。以下にその内容を記載する。

(1) 調査概要

調査目的

これまでの活動、市内でのこしたいと思う歴史文化、今後関わることできそうな文化財関連事業や活動、行政への期待、本地域計画におけるシンポジウム開催にむけた意見について把握するものである。

調査時期

令和3年(2021)7月~12月

調査対象

対象名(実施順):

1. kamon かしわインフォメーションセンター
2. 柏市観光協会(柏商工会議所内)
3. 一般財団法人 柏市まちづくり公社
4. 道の駅しょうなん(手賀沼アグリビジネスパーク事業推進協議会)
5. 篠籠田の獅子舞保存会
6. ちゃーりんぐ柏
7. ハンズオンラボ
8. 歴史クラブ
9. 千葉県建築士事務所協会東葛支部「景観まちづくり委員会」
10. 沼南ファーム
11. 株式会社バルーン
12. 市民公益活動団体 柏観光プロダクション
13. 一般財団法人 柏市みどりの基金
14. 合同会社 EDGE HAUS
15. 千葉県建築士会柏支部
16. NPO 法人 下田の杜里山フォーラム
17. 福寿院

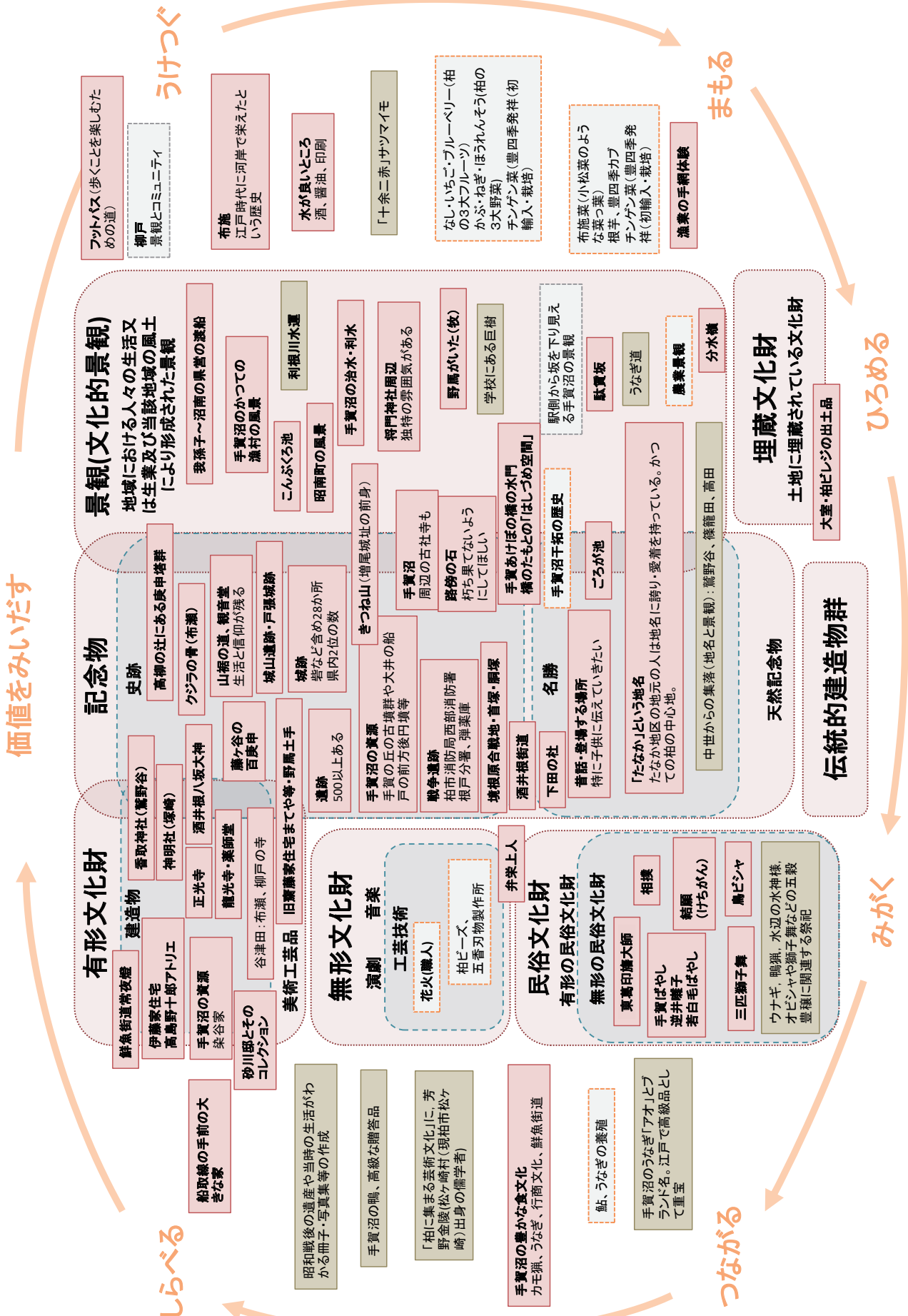
(2) 調査結果

ヒアリング調査の内以下の意見をまとめ、計画作成協議会委員、庁内で関係する各課、調査者、事務局の意見も加え掲載する。

- ・のこしたい歴史・文化
- ・現在の活動内容
- ・文化財^{*}の保存・活用にむけた課題
- ・課題解決に向けた今後の方向性

※ヒアリング時点での「文化財」は当計画の「文化遺産」を示す。

柏市文化財保存活用地域計画の対象となる歴史文化遺産と保存・活用に係る活動のサイクル



2. アンケート調査

本地域計画の作成にあたり、令和4（2022）年度におこなった柏市文化財保存活用地域計画シンポジウム（以下、シンポジウム）において、参加者へアンケート調査を実施した。以下にその内容を記載する。

（1）調査概要

調査目的

シンポジウム開催を通じて、同計画やシンポジウムへの感想・評価、また来場者・Web閲覧者自身と文化財への関わり方について把握するものである。

調査日時

令和4（2022）年8月21日（日）午後12時30分～午後5時

調査場所

アミュゼ柏内市民プラザ（同シンポジウム開催会場）

調査対象

以下3グループを対象とする。

- ①文化財関連団体及びその構成員としてシンポジウムに参加した者。
- ②一般市民等として、シンポジウム会場に来場参加した者。
- ③一般市民等として、シンポジウムのオンライン生配信を視聴した者。

※柏市民全体を母集団とする調査ではなく、あくまで文化財活動に興味関心を持っていたり関連活動に従事したり等、市内文化財事業のけん引層・オピニオンリーダー層を対象とした調査である。

調査方法

- ①会場にてアンケート用紙の配布・回収
 - ②Webアンケート（logoフォーム利用）
- 調査項目は右記アンケート記入用紙見本を参照

回収数

29ss（ss=sample size = 件数）

内訳

- ①アンケート用紙回答者 13ss（来場者 72人）
- ②Webアンケート回答者 16ss（Web閲覧者 23人）

補足

感染症拡大防止及びサーバダウン対策上、来場者や閲覧者を制限しての実施となった。これに伴いアンケート回収数も計29ssと非常に少なく、統計学的・定量的分析は困難なため、本調査報告における集計分析は割合やN%表ではなく原則、度数（人数）を用いている。



写真付-1：シンポジウム会場

柏市文化財保存活用計画 シンポジウムについてのアンケート

WEB版はこちら



1) 本日のシンポジウムで興味深いと感じたものは何でしょうか(複数回答可)。

・基調講演 ・柏市文化財保存活用計画の説明 ・逆井囃子 ・団体活動の発表 ・交流会

その他ご自由にお書きください

2) 市内文化財への関心や関わりについて、あなたの考えに近いものにチェックを入れてください(複数回答可)。

この方向に向かってご回答ください→	興味が ある	見学・参加・ 体験したい	手伝い・協力・ 連携したい	自身又は所属団体で 企画・実施してみたい
1 古民家・歴史的建造物を活かした催し	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 古民家・歴史的建造物の保存・継承	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 伝統芸能・伝統行事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 市内文化遺産の見学ツアー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 市内文化遺産のガイド	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 地元にある文化遺産の発信・PR	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7 学校教育・授業支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

その他、ご自由にお書きください。

3) 「柏市文化財保存活用地域計画」の内容についてご意見、ご感想がございましたら、自由にお書きください。

4) 本日のシンポジウムに参加しての感想をご自由にお書きください。

5) あなた様についてお教えてください。

年齢：(10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上) 性別：(男性 女性 その他)

居住地：市内(北部 中央部 東部 西部 南部) 市外

※団体にご所属の方へお伺いします。どの分野の団体に所属されていますか？

文化財所有・保存会 歴史研究 環境保全 観光・産業 メディア その他()

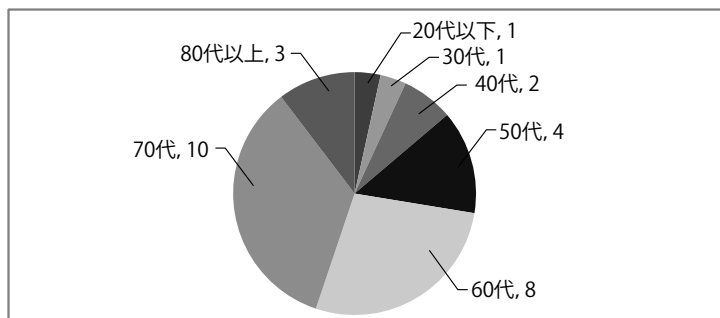
今後、連携を希望される事業等がございましたら、お差支えなければお名前、ご連絡先をご記入ください。

ご氏名 _____ 電話 _____ E-mail _____

ご住所 _____

(2) 回答者構成

年代（単位は特に断りのないものはいずれも人。以下同。）



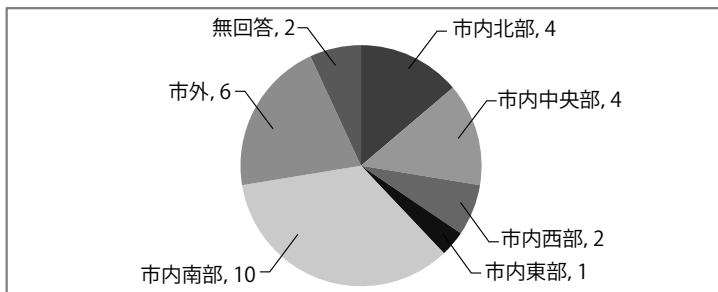
平均年齢 63.5 歳

(年齢計算法) 各カテゴリの中央値を年齢(例: 30代は35歳)として算出。
 ※カテゴリ「10代」+「20代」=「20代以上」とし、25歳とみなす。
 ※カテゴリ「80代以上」は、85歳とみなす。

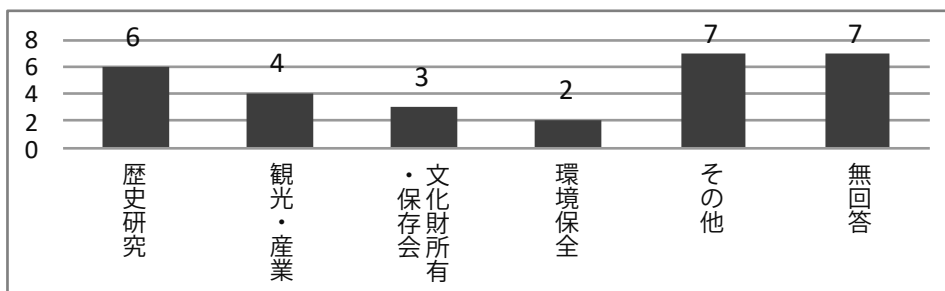
性別

男性：19， 女性：8， その他（無回答含む）：2

居住地

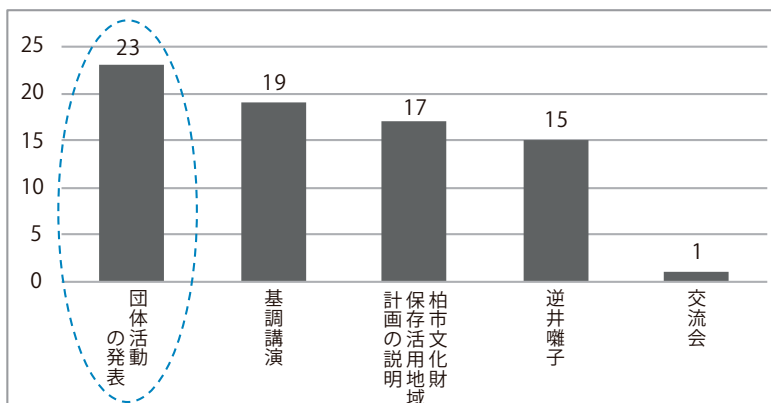


所属先等



(3) 調査結果

Q1. 本日のシンポジウムで興味深いと感じたものは何でしょうか（複数回答可）。

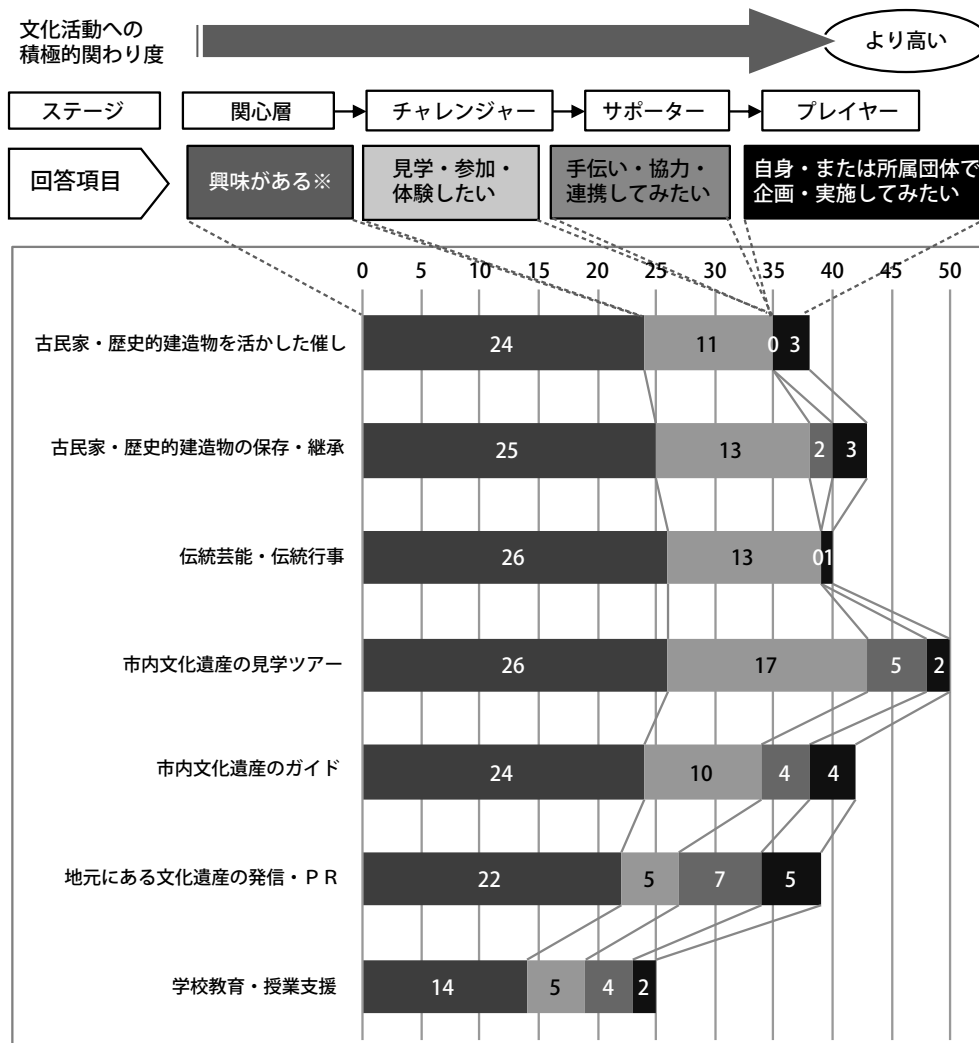


「その他」自由回答内容

- ・逆井ばやしの内容が分かれば良いと思いました。
- ・歴史散歩が好き。以前は今回発表した会に所属今はフリーで協力しています。

Q2. 市内文化財への関心や関わりについて、あなたの考えに近いものをそれぞれお選びください。

(1～7まで複数回答可能)



いずれの文化財（保存活用）事業についてもおおむね「興味がある」は多く、高い関心が示されている。一方、「学校教育・授業支援」は相対的に少ない。

- ・「市内文化遺産の見学ツアー」については、他事業項目と比べ「興味がある」の1ステージ上にある「見学・参加・体験したい」も多い。
- ・「地元にある文化遺産の発信・PR」については、「手伝い・協力・連携してみたい」「自身または所属団体に企画・実施してみたい」が多く、文化財への関わり方としてニーズがうかがえる。

- ・(注)「興味がある」回答者数について
- ・本設問(Q2)は、市民活動の心理・行動モデルとして前ページグラフ上段部のような段階的構造を想定し、各ステージのボリュームや到達度の確認を企図したものである。
- ・よって、「興味がある」を回答していなくても、「見学・参加・体験したい」「手伝い・協力・連携したい」「自身又は所属団体に企画・実施したい」いずれか一つでも回答された場合は、論理矛盾の回避上、その前提である「興味がある」にも回答したとみなし(補正)処理している。
- ・なお、参考値として実回答数も以下記載する。

	事業項目	実回答数	補正回答数 (本報告採用数)
1	古民家・歴史的建造物を活かした催し	16	24
2	古民家・歴史的建造物の保存・継承	16	25
3	伝統芸能・伝統行事	20	26
4	市内文化遺産の見学ツアー	16	26
5	市内文化遺産のガイド	17	24
6	地元にある文化遺産の発信・PR	16	22
7	学校教育・授業支援	10	14

Q3.「柏市文化財保存活用地域計画」の内容についてご意見、ご感想がございましたら、自由にお書きください。

1	関係団体へのヒアリング結果を的確にまとめ上手に活かしている。
2	地域の意見が多いに反映されているものと感じました。
3	市民にヒアリングをして再計画案を練り作成している点は具体化に繋がると思う。また、このような場面で説明されるのは理解や協力で進められるかと。
4	内容がほとんど具体的でない。まず文化財保護を目指して活動している団体に個別にヒアリングするなど、地道な調査をすべき。地道な活動を柏市はやっておらず、フワッした観念論で片付けているように思う。実際、当会にも聞きに来ていない。 柏市にある城跡は松ヶ崎城跡、増尾城跡、幸谷城跡と保存状態の良い城跡があるが、それは地権者が大きな開発などで破壊しなかった歴史の偶然と保存運動の賜物であって、市が前面に出てということではないと思う。
5	それぞれの展示と資料、おおいに勉強になりました。
6	埋蔵文化財や、地域に伝わる伝統芸能等の展示、発信出来る場所等の場所有れば良いのだが。
7	「柏のまちづくりに歴史文化を活かす」ことは素晴らしい取り組みだと思います。この事業計画が実行されて、実際に実績ができて事例となるような地域が増えて行き、地域のつながりや多世代のつながりを担って欲しいです。
8	この度は、貴重なお時間を頂戴いただきまして、誠にありがとうございます。 今後とも、何卒宜しくお願い致します。
9	本地域計画の基本理念には賛同しつつも、具体については勉強不足です。 今後じっくりと学習していければと考えています。
10	それぞれの活動が繋がり、それによって国からの支援などがあるのであればとても素晴らしいことだとは思いました。
11	とても良い取り組みだと思います。 文化財になっているものはもちろん、何にも指定されていない、身近な風景に価値を見だし、次世代へ届ける取り組みがスタートした事がとても素晴らしいと思います。 文化課さん、農政課さん、図書館さん、商工振興課さんの連携により、広く面として、貴重な文化をすくいあげる事になるとおもいました。

Q4. 本日のシンポジウムに参加しての感想をご自由にお書きください。

1	頑張っている団体がいくつもある事を知り、感銘しました。
2	柏市に他県よりうつり住んでやっと2年がすぎて、“すんでいる所を知ろう”と思い、皆さんの活動内容をお書きして感動しました。
3	このような機会はとても大切だと思いました。経済部と図書館の部署の方々がシンポジウムに参加されていることは、これからの柏市行政に希望を抱きました。 文化財を有形無形の両方とされていることがすてきです。生活が見えてきます。
4	もう少し早く計画を知らせてほしかった
5	観光プロジェクトチーム（経営戦略課）との親和性が高いと感じた。
6	手賀沼の時を繋ぐ会として6年間活動してきましたが、代表の遺志で解散となりましたが長屋門（染谷、湯浅、藪崎）家の資料がたくさんありぜひ活用していただきたい。
7	地域の歴史文化に関わる団体の意向が反映されており、今後地域とともにこの計画を進めていこうとしているのを感じました。
8	柏の歴史文化を活かす。いいプログラム内容でした。今ある文化財が継承、大切にしたい。柏市教育委員会が主催は方向性が見出だせると思います。企画から実践にと思います。団体活動頑張っている姿にパワーをもらいました。
9	ハッキリ言って失望の方が大きい。市長も教育長すら来ていない。 また各団体に発表させたが、5分では無理。 一方団体のうち、文化財保護と直接関係しないような団体もあったが、そのような団体に話させても実のある話が出来ると思えない。 市としてはパネル作成や展示の準備などは苦労があったと思う。それは理解できる。 しかし、そもそも長年に渡り、文化財保護のために署名活動や議会への働きかけ、地権者への談判は我々が行ってきた。その重み、意義を柏市当局は分かっていないようだ。
10	皆さん方が、各分野で活躍しているので、驚きでした。
11	計画のポイントが理解できました。
12	色々な活動を通して、地域を活性化を目指す事は重要だと感じた。
13	発表の場をいただき、ありがとうございました。他団体の方の活動も興味深いものでした。

14	柏市で歴史文化に関わる活動を随分前から自主的に行っていたらっしゃる団体がこんなに沢山あることを誇りに思います。ですので、シンポジウムで集まったみなさまが繋がってさらに共創が生まれて大きく発展して多くの人達にこの活動が知り渡り、持続可能となることを願います。
15	様々な団体のお話を聞けて、勉強になりました。
16	自分が長く調べてきた柏の歴史や観光が一堂に会したという感がありました。
17	いろいろな団体のことを知ることができ、とてもよかったですと思います。それぞれ、得意不得意があるので、協力すれば、大きな力になると思います。
18	多くの新しい発見があり、有意義な時間を過ごせました。今後の学習方法の一端を知ることが出来たように思っています。これからもこのような機会をつくって頂けたら幸いです。
19	沢山の団体さんの活動を知ることが出来て、個人的にも興味深いものも沢山知ることが出来ました。自分たちの活動にも参考にさせて頂きたいと思いました。
20	基調講演の、「何もない」のではなく、「知らない」という意識改革が必要だということ。地域計画については、広報を通じてシリーズものとして、より具体的にPRするのは一方策だと思います。市民が保存に向けて何を出来るのか、どうすれば良いのか。活用方法はどのようにするのか？などシンポジウムという点、一般受けしない。今回のような各団体の発表で良かったです。
21	市内で、様々な団体が活動されている事は存じていましたが、各団体の講演により、活動を知ることができて大変勉強になりました。

(4) 調査結果概要 (傾向としての結論)

本調査結果は調査対象者数 (=回収数) の少なさから、あくまで「傾向」として、以下のとおり整理するものである。

シンポジウムにおける各プログラムへの評価

- ・文化財（保存活用）活動に直接的あるいは間接的に携わる市民団体同士の連携・横展開が期待され、その実現を企図して今回の機会が設けられた。
- ・来場者・WEB配信閲覧者のアンケート回答ではプログラム「団体活動の発表」に高い興味を示され、その期待に一定程度応えられたと思われる。

文化財活動への今後の関わり方について

- ・建造物等有形文化財のみならず、伝統芸能・無形文化財についても幅広く興味を示された。それら活動の更なる展開のきっかけとしてか、「市内文化遺産の見学ツアー」について、文化財を見学・参加・体験したいという声が多い。
- ・また団体内活動のみならず、文化遺産のガイド役や発信・PR等、外的志向性の活動についても一定の関心や意向が示されている。
- ・一方、「学校教育・授業支援」については興味や活動意向が相対的に低く、関連市民団体に次世代継承の担い手役を期待するならば、何が障壁となっているか、今後明確にしていくことも必要と思われる。

地域計画への評価

- ・「未来」志向のまちづくりに、「過去」の文化財を、「現代」の地域にて積極的に保存活用していく計画について、概ね賛同を得られたようである。

シンポジウム全体への評価

- ・従来の活動では知りえなかった他団体、市役所他部署の存在を知り、またそれぞれの熱量の高さに触れることができたこと、おおむね高い評価を得られた。総合的にこうした取り組みや大まかな方向性について現時点では、市民から積極的理解を得られるものとした上で、市は計画の広報発信者としてのみならず各団体や組織の紹介・連携を促す仲介者、支援者としての役割が引き続き重要。



2023年3月31日 計画完成
2023年7月21日 文化庁認定
2023年11月17日 一部改訂

柏市文化財保存活用地域計画 2023 - 2030

発行日	令和5年(2023)11月17日
編集・発行	柏市教育委員会 生涯学習部 文化課 文化財担当 〒277-8503 千葉県柏市大島田48-1 TEL 04-7191-7414
印刷	株式会社 精興社

